

越前国大絵図と近世村落 の石高村名変遷に就いて

松原 信之

中世末期の群雄割拠の戦国時代も信長、秀吉の天下覇業の努力を経て家康に至ってその全国統一が完成した。これに伴い中世の庄園制度も近世大名領国統治のもとに新しい村落制度へと再編成された。秀吉の全国的な総検地いわゆる大閤検地はその先がけをなすもので後の徳川幕府にする総検地の基範ともなったものである。徳川幕府成立後、最初に行つた全国的総検地は正保二年のことであり、その後元禄十三年及び天保五年においても行なわれた。松平藩においては、この他別個に慶長十一年と貞享二年に越前一国に關しての総検地及び国絵図の幕府提出が求められたと記録されている。

慶長三年の太閤検地の資料としては敦賀城主吉隆の知行所の内、南仲条・丹生北・今南西三郡に互つてその高を記した「慶長三年九月吉日大谷刑部少輔御知行分越前府中郡在々高目録」などの一部まとまつたも

のもあるが、その他はおおむね村毎の断片的資料が僅かに残存しているに過ぎず、太閤検地に關する越前一国の各村別の石高を知ることは現在不可能とされている。

さて慶長十一年の検地については福井県史に「福井藩にありては藩初慶長十一年領内を通じて較々大規模の検地を行ひしが石高には甚しき差異(太閤検地と比べて)を生ぜざりき」とあるが、その資料に關しては現在まで不知とされてきた。ところが福井県立図書館の松平文庫にある越前国大絵図、製作年代は記入されていないが、どうもこの慶長十一年の資料を基礎に作成されたものであることが、ほぼ確定して来た。この論拠とするところは勿論墨色や彩色、図法など他の古図と異なり相当に古い地図であると推定されることにもよるが、まず第一に福井が北庄町となつてゐることからである。北庄が福居(後に福井)と改名されたのは寛永元年のことであるから少なくとも寛永以前、慶長元和頃の地図であることが判明する。従つて正保二年の絵図でないことは論を待たない。

この絵図に記入されてある石高には近世各村落単位の石高記載もあるが、中には×

×郷とか○○之庄とか中世的庄郷域でまとめられてあるものもあつて最初は太閤検地の資料を基にした絵図であろうと考へたこともあつた。しかし既に丹生郡誌の論稿にも發表した如く先の「慶長三年越前府中郡在々高目録」と比較検討して見た結果太閤検地の資料よりもやや新しい事が知られた。丹生郡誌資料編参照)この他北庄城一帯の村落を検するに、慶長六年北庄城拡張工事と共に旧地から新地(現在の城橋町)に転地を求められた城橋向村が既に新地に村名が見えており石高も正保、元禄、天保の諸検地の石高と同じであること、又同様に北庄町、北庄松本町、石場町などの石高も幕末まで少しの変動も見られないことは、絵図に記されてある石高が既に北庄城下町の事実上の拡張が行なわれて後の検地であること、即ち慶長十一年頃をここにも裏付けるものと考へられるのである。

以上で越前国大絵図の時代考証を試みたのであるが、この大絵図の持つ重要性はただ単に藩初の各村の石高が知られると云うだけでなく、前述した如く中世の庄郷域の一部をも窺ふることであつて、この価値は高く評価され今後この郡市町村史の貴重な資

松原

越前国大絵図と近世村落の石高村名変遷に就いて

料として充分に活かされるべきである。但しこの絵図における庄郷域の推定は慶長十一年に最も近い正保検地の石高を基にして、又福井県史などに記された庄郷名や越前国名蹟考にある各村の所属していた庄郷域なども参考(注1)として石高集計を行つて得たものである。更にこれに元禄度、及び天保度の各村石高を比較しながら、徳川時代を通じての足羽郡(注2)下の各村石高の変遷、即ち新田開発や欠損田及び村名の改号などを一望にして知り得る様に作成したのが次表である。この表を基にして二、三の解説を試みてみたい。

一 北庄

大日本地名辞典によれば北庄は足羽御厨の北庄の意であると記されてある。北庄の庄域については神明社縁起に「北庄三郷者。……上郷者四井村、勝見、丸山。中郷者北庄。下郷者明里村、高柳、水越、飯塚、角折、大瀬、菅谷、境村、安居、下市、金屋、向大瀬也。」とあるが、この記事はおそらく徳川初期に記述されたものと推定され、すべては信じ難いが、北庄の庄域を

知る唯一の資料とされてきた。ところがこの越前国大絵図にも吉田郡に北庄上之郷、足羽北郡に北庄町及び北庄下之郷が見えており、この神明社縁起を裏付ける重要な資料となつた、即ちこの絵図での北庄下之郷は堺村、菅谷村、明里村、水越村、飯塚村、大瀬村、角折村の地域であつて神明社縁起とはほぼ一致し中郷の北庄は北庄町の他、北庄松本村、三橋村、城橋向村の地域と容易に想像が出来る。但し吉田郡北庄上之郷については石高集計などで復元してみた結果、北今泉村、東今泉村、河増村の地域であることが知られた。おそらくかつてはこれらの地域に四井村又はこれに隣接する諸村の一部をも含めた一帯が北庄上之郷であつたと考えられる。

二 花堂村の石高

足羽北郡花堂村の石高を慶長十一年と正保二年とを比較してみると、実に千石の差が認められる。(越前国大絵図には六三一石七斗とあり、正保二年以後のものは一六三石八斗三升五合とある。)これをこのまま信ずるならば、この間に千石の新田開

発が行なわれたと考えるべきであるが、花堂村にこの様な大規模な新田開発が行なわれたとは到底考えられない。一方足羽北郡の各村の石高を實際に集計したものと、既に足羽北郡全体の石高として記入されてあるものとを比較してみると千石の差が認められ、越前国大絵図の花堂村石高記載において千石の記入洩れがあつたことが知られた。従つて表には訂正してこれを記入した。

三 村名の改号

各国絵図を比較してみると藩政時代を通じて足羽郡下にも何ヶ村かが村名の改号の行なわれたことが知られる。丹生郡下においては越前国名蹟考に元禄十四年八月の国絵図書上げに際して、同郡下に同名の村が二ヶ村あつて紛らわしきもの十ヶ村の村名改号の行なわれたことが記されている。足羽郡下においては、この様な記録は存在しないが、おそらくこれと同じ意味での改号の行なわれたものもあろう。石高変遷の表によつても各村の村名改号が知られるが、ここに便宜上まとめて別表を作成した。い

村名変遷表

松原
越前国大絵図と近世村落の石高村名変遷に就いて

慶長絵図	正保絵図	貞享絵図	元禄絵図
君塚村 名子村 大沢村	福南大 居土呂 村	渡別細 所江東 村	四居渡 大町別 所村
		西東大 味村	二ヶ村に分かれる 二ヶ村に分かれる
正保絵図	貞享絵図	東郷町 安原村 (イ)	三ヶ村に分かれる 安原村
北中盛 中木村 大宅村 関津村 栃村 深見村 嶋田杉	北四居 和田中 森行村 主計中 大徳光 徳泉村 深見村 田治島 福島谷	岩倉村 (ロ) 大窪村 別所村 中島村	岩倉村 大久保村 三万谷別 所村 東郷中島村
		(イ) この絵図には村形はあるが高は小路村へ入る (ロ) この絵図には村形はあるが高は田中村へ入る	

いずれも国絵図の比較によつてのみ知られるものばかりである。

〔注1〕越前国名蹟考に各村がかつて、どの庄郷域に属していたか記されてあるが、これは著者が当時(藩末頃)その郷庄の呼称の遺つている村その推定出来る村について知り得る限り記載したのであるから勿論この庄郷がそのまま正しいのではない「庄郷不レ知」とあるのはこのためである。

〔注2〕寛文四年(一六六四年)四月に幕府は領分目録を附して判物を出した。この目録によれば越前国十二郡が始めて八郡となり、即ち足羽北郡と足羽南郡は併合されて足羽郡となつた。

〔注3〕惣高は越前国大絵図に既に記入されてある石高と各村々を實際に集計したものと数字が一致しない。これは各村の石高が誤つて記入されたものもあるからである。表末に記した惣石高は實際の集計値である。

(高志高等学校)

松原
越前国大絵図と近世村落の石高村名変遷に就いて

江 端 村	406.300	-	-	-	-
		浅 水 村	982.100	浅 水 村 658.853 真 木 村 323.247 (小計) (982.100)	658.893 -
浅 水 村	1732.558	浅 水 二 日 市 村 上 江 尻 村	53.579 10.923	-	- 77.484
浅 水 二 日 市 村	高浅水江入	下 江 尻 村 三 十 八 社 村 (小計)	219.926 399.380 (1665.908)	-	219.976 -
冬 野 村	1692.653	中 野 村 冬 野 村 杉 谷 村 安 保 村 引 目 村 (小計)	249.320 205.430 719.300 377.380 142.690 (1694.120)	-	- - - - -
三 小 野 村	786.510	三 尾 野 村 華 守 村 (小計)	644.557 355.510 (1000.067)	-	646.382 367.910
惣 高 合 数 村	40052.620 35ヵ村	(注3)	40248.899 .62ヵ村		
実際の惣高集計	40052.725				

足羽南部 石高・村名変遷表

慶 長 1 1 年		正 保 2 年		元 禄 13 年	天 保 5 年
村 名	石 高 石斗升合	村 名	石 高 石斗升合	村名及び石高 石斗升合	村名及び石高 石斗升合
和 田 村	4585.025	西 方 村 淵 ノ 上 村 和 田 東 村 中 田 出 作 村 和 田 出 作 村 (小計)	538.725 409.750 604.280 2939.790 92.525 (4585.070)	和 田 中 村	- - - -
荒 木 村	1012.317	荒 木 村 別 所 村 (小計)	619.080 393.237 (1012.317)	-	- -
新 保 村	1589.050	荒 木 新 保 村 梅 野 松 成 村 合 島 村 渡 島 村 (小計)	878.100 340.410 310.540 60.173 (1589.223)	-	1365.208 346.150 -
稻 津 村 大 別 町 所	1033.780 580.092 440.280	-	580.098 440.681	大 町 別 所 村	- -
勤 生 田 村	1927.567	上 勤 生 田 村 下 勤 生 田 村 (小計)	856.676 1070.891 (1927.567)	-	- -
六 条 村	1936.636	上 六 条 村 下 六 条 村 (小計)	680.399 1256.230 (1936.629)	-	- -

天	王	村	722.935	—	—	—	—
小	稻	村	1056.553	—	1056.550	—	—
大	津	村	951.343	大	—	—	—
新	沢	村	405.768	土	405.750	—	—
鉾	開	村	647.188	呂	647.183	—	647.185
太	田	保	2064.643	村	1214.930	—	—
二	上	村	440.040	{ 太平	849.670	—	—
主	計	郷	1704.715	(小	(2064.600)	—	—
山	内	郷	1387.800	計)	470.040	—	—
河	北	村	2515.306	盛	435.990	森	—
細	江	郷	1723.961	中	831.831	主	—
西	東	大味村	1455.023	三	204.800	計	831.836
德	光	保	4743.553	末	232.082	中	—
東	郷	町	1599.700	(小	(1704.703)	村	—
下	東	郷	1642.536	德	316.247	行	—
安	原	庄	2968.973	角	707.880	村	—
				生	358.810	計	—
				(小	(1382.937)	中	—
				上	1245.520	村	—
				下	1269.770	計	—
				(小	(2515.290)	森	—
				計)	—	主	—
				細	—	計	—
				江	—	中	—
				上	—	村	—
				下	—	計	—
				計)	—	森	—
				大	—	主	—
				味	—	計	—
				村	—	中	—
				東	—	村	—
				大	—	計	—
				味	—	森	—
				村	—	主	—
				計)	—	計	—
				大	—	中	—
				味	—	村	—
				村	—	計	—
				東	—	森	—
				大	—	主	—
				味	—	計	—
				村	—	中	—
				計)	—	村	—
				大	—	計	—
				味	—	森	—
				村	—	主	—
				計)	—	計	—
				上	—	中	—
				東	—	村	—
				郷	—	計	—
				村	—	森	—
				福	—	主	—
				田	—	計	—
				村	—	中	—
				東	—	村	—
				郷	—	計	—
				村	—	森	—
				計)	—	主	—
				東	—	計	—
				郷	—	中	—
				中	—	村	—
				島	—	計	—
				村	—	森	—
				東	—	主	—
				寺	—	計	—
				村	—	中	—
				計)	—	村	—
				小	—	計	—
				路	—	森	—
				安	—	主	—
				原	—	計	—
				共	—	中	—
				村	—	村	—
				計)	—	計	—
				上	—	森	—
				毘	—	主	—
				沙	—	計	—
				門	—	中	—
				村	—	村	—
				計)	—	計	—
				上	—	森	—
				申	—	主	—
				下	—	計	—
				脇	—	中	—
				南	—	村	—
				山	—	計	—
				村	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—
				計)	—	計	—
				小	—	森	—
				計)	—	主	—
				小	—	計	—
				計)	—	中	—
				小	—	村	—

